

## はじめに

環境省が毎年実施している施行状況調査において、平成 28 年度の全国の悪臭に関する苦情件数は、12,624 件でした。悪臭に関する苦情件数は近年は減少傾向にありますが、典型 7 公害の中でも、騒音、大気汚染に続いて苦情が多く、対策が望まれているところです。

環境省では、全国の地方公共団体で行われている悪臭に関する苦情対応に関する課題点を把握するために、平成 27 年度にアンケート調査を実施しました。その中で、臭気対策として効果的であった事例や他の事案の参考になるような事例を望む声が多く挙がりました。

悪臭に関する苦情件数について、業種別に見ると、「サービス業・その他」や「畜産農業」に目立つ傾向があります。また、「畜産農業」や「廃棄物処理業（堆肥を扱うもの）」の業種に関しては、地方公共団体のアンケート調査結果より「長期間（3 年以上）にわたり解決せず、対応に苦慮されている苦情案件」が最も多い回答として挙がりました。

そこで、畜産農業（酪農、養豚、養鶏）、堆肥化施設などに焦点をあて、事業者において悪臭を排出しないための努力や、苦情を軽減させる工夫等の参考となる事例を収集、整理しました。

本事例集が、地方公共団体や事業者の方々の悪臭への対応において、有効に活用されることを期待します。

※事例集「堆肥化施設・バイオマス活用施設編」は別冊になります。